平成26年４月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月９日

上 場 会 社 名	株式会社ビューティガレージ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3180	URL	http://www.beautygarage.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役CEO	(氏名)野村　秀輝	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員 経営管理グループ統括責任者	(氏名)伊藤　雅之	(TEL) 03(5752)3897
四半期報告書提出予定日	平成25年12月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

１．平成26年４月期第２四半期の連結業績（平成25年５月１日～平成25年10月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年４月期第２四半期	3,081	―	56	―	46	―	28	―
25年４月期第２四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)　包括利益　26年４月期第２四半期　28百万円（ ―%）　25年４月期第２四半期　―百万円（ ―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年４月期第２四半期	23.71	23.53
25年４月期第２四半期	―	―

(注)　平成25年４月期第２四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年４月期第２四半期及び平成26年４月期第２四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年４月期第２四半期	2,122	1,121	52.8
25年４月期	2,083	1,116	53.6

(参考) 自己資本　26年４月期第２四半期　1,121百万円　25年４月期　1,116百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年４月期	―	―	―	20.00	20.00
26年４月期	―	―			
26年４月期(予想)			―	未定	未定

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年４月期の連結業績予想（平成25年５月１日～平成26年４月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,335	19.8	216	△30.7	209	△37.3	138	△27.5	116.96

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　－社（社名）－　　、除外　　１社（社名）株式会社ムサシ

（注）詳細は、添付資料５ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年４月期２Ｑ	1,182,000株	25年４月期	1,182,000株
②　期末自己株式数	26年４月期２Ｑ	―株	25年４月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年４月期２Ｑ	1,182,000株	25年４月期２Ｑ	―株

（注）１．平成24年10月２日付で１株につき200株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数を算定しております。

２．平成25年４月期第２四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……11
（継続企業の前提に関する注記） ……11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……11
（セグメント情報等） ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融施策への期待感から株価の上昇など、一部に明るい兆しがみられました。しかしながら、来春の消費税引き上げによる消費者マインドの低下など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても依然として消費者マインドの冷え込みから厳しい経済環境が続いていることから、経済的な商材仕入れルートの確保や効果的な集客方法を検討・実施の重要性がさらに高まっております。特に美容室における新規開業店舗数は増加傾向にあり、店舗間の競争はさらに激化しております。

そのような状況下、当社グループでは平成25年６月にプロ向け美容商材ショールームとしては日本最大級の「東京本社総合ショールーム」を開設し展示品数の大幅な充実を図るとともに、商品をその場でお買い上げいただける「BGストア」や、開業と経営の情報ステーション「BGラウンジ」を併設いたしました。

また、最大の販路であるプロ向け美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」の徹底した利便性向上を追及したサイト運営や商品ラインナップ拡充の強化に努めました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は3,081,013千円と堅調に推移しました。

しかしながら、物販事業における円安の影響、利益率の高い中古商品売上高比率の低下、店舗設計事業において競争力のある契約価格を提示することで新規顧客の開拓に努めたことなどにより原価率が上昇し売上総利益は当初予想値を下回る1,028,047千円となりました。

売上総利益率の低下に伴い、人件費削減などの販売費及び一般管理費の圧縮も鋭意進めておりますが、当社は未だ成長過程にあることから、今期は美容業界向け流通市場におけるマーケットシェア獲得を最優先課題としており販売促進への積極的な投資が中長期的な事業規模拡大を実現するためには重要であると判断し、販売費及び一般管理費におきましては概ね予想値どおりとなったことから営業利益56,714千円、経常利益46,731千円、四半期純利益28,025千円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

販路別ではプロ向け美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」を経由した売上高が順調に伸びているほか、商品別ではストック型収益商材である化粧品や消耗品の売上高が堅調に伸長いたしました。

さらに、今年度は美容業界向け流通市場のマーケットシェア獲得を最重要課題と位置付け業界内における知名度向上を目的として販売促進策への積極的な投資を実施いたしました。

平成25年５月には美容業界最大のイベントである「BEAUTY WORLD JAPAN 2013」に出展したほか、平成25年10月には関西で開催された「BEAUTY WORLD JAPAN WEST 2013」にも出展いたしました。

また、カタログ通販誌「BG STYLE」を前号よりも80ページ増やした過去最多の482ページに内容を充実させた上、印刷部数も増刷しカタログ販売の強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は2,323,341千円、セグメント利益は145,283千円となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しております。

当社グループの総合力を活かし、従来受注案件の多くを占めていた小型・個店案件に加えて大手サロン案件の獲得を目指し、競争力のある契約価格を提示することで、新規顧客の開拓に努めたことから当事業の売上高は636,582千円、セグメント利益は23,706千円となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要な不動産物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市10ヶ所のショールームを通して提供しております。

また、さらなるサービスラインナップの充実を目的として、平成25年５月には美容業界初の完全成果報酬型求人サイト「salon career」の運営を目的に連結子会社株式会社サロンキャリアを設立し、人材支援サービスの強化を図りました。当第２四半期連結会計期末時点で求人掲載数は5,000件を超え順調に推移しましたが成約件数につきましては未だ少ないことから収益化には至っておりません。

この結果、当事業の売上高は121,089千円、セグメント損失は18,999千円となっております。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、1,871,869千円となりました。これは、主に商品の増加64,515千円があったものの、受取手形及び売掛金の減少35,065千円及び前渡金の減少68,730千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて21.2%増加し、250,926千円となりました。これは、主に有形固定資産の増加39,361千円によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、844,825千円となりました。これは、主に賞与引当金の増加56,796千円があったものの、未払法人税等の減少53,992千円及び1年内償還予定の社債の減少10,000千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて62.9%増加し、156,886千円となりました。これは、主に長期借入金の増加43,056千円によるものであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、1,121,084千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少23,640千円があったものの、当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加28,025千円があったことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ46,226千円増加し、602,856千円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、55,050千円となりました。これは、主に法人税等の支払額84,652千円があったものの、その他引当金の増加57,312千円、税金等調整前四半期純利益42,522千円の計上及び売上債権の減少35,065千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、42,559千円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出45,346千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、25,560千円となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出40,960千円、配当金の支払額23,479千円及び社債の償還による支出10,000千円があったものの、長期借入れによる収入100,000千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月３日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社ムサシは、平成25年５月１日付で当社を存続会社とし当社の特定子会社であった株式会社ムサシを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲より除外しております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成25年５月１日付で、株式会社サロンキャリアを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	562,029	602,856
受取手形及び売掛金	392,458	357,393
商品	678,618	743,133
仕掛品	12,240	9,746
その他	240,750	167,316
貸倒引当金	△9,522	△8,576
流動資産合計	1,876,575	1,871,869
固定資産		
有形固定資産	39,722	79,084
無形固定資産		
のれん	2,648	1,589
ソフトウエア	34,071	33,023
その他	116	116
無形固定資産合計	36,836	34,729
投資その他の資産	130,536	137,112
固定資産合計	207,095	250,926
資産合計	2,083,670	2,122,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	339,321	337,564
1年内返済予定の長期借入金	61,720	77,704
1年内償還予定の社債	10,000	－
未払法人税等	87,178	33,185
賞与引当金	20,675	77,471
製品保証引当金	10,630	11,712
受注損失引当金	21	538
資産除去債務	4,969	－
その他	336,125	306,649
流動負債合計	870,642	844,825
固定負債		
長期借入金	50,560	93,616
ポイント引当金	23,839	25,540
資産除去債務	9,673	23,851
その他	12,256	13,878
固定負債合計	96,329	156,886
負債合計	966,971	1,001,712

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,320	262,320
資本剰余金	213,587	213,587
利益剰余金	640,792	645,177
株主資本合計	1,116,699	1,121,084
純資産合計	1,116,699	1,121,084
負債純資産合計	2,083,670	2,122,796

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
売上高	3,081,013
売上原価	2,052,966
売上総利益	1,028,047
販売費及び一般管理費	971,332
営業利益	56,714
営業外収益	
受取利息及び配当金	73
破損商品等弁償金	920
その他	1,193
営業外収益合計	2,187
営業外費用	
支払利息	874
為替差損	10,866
その他	429
営業外費用合計	12,170
経常利益	46,731
特別利益	
固定資産売却益	90
特別利益合計	90
特別損失	
本社移転費用	4,300
特別損失合計	4,300
税金等調整前四半期純利益	42,522
法人税、住民税及び事業税	31,599
法人税等調整額	△17,102
法人税等合計	14,496
少数株主損益調整前四半期純利益	28,025
四半期純利益	28,025

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	28,025
四半期包括利益	28,025
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	28,025

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	42,522
減価償却費	18,745
のれん償却額	1,059
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,485
ポイント引当金の増減額（△は減少）	1,700
製品保証引当金の増減額（△は減少）	1,081
その他の引当金の増減額（△は減少）	57,312
受取利息及び受取配当金	△73
支払利息	874
有形固定資産除売却損益（△は益）	△90
売上債権の増減額（△は増加）	35,065
たな卸資産の増減額（△は増加）	△62,021
仕入債務の増減額（△は減少）	3,682
未払金の増減額（△は減少）	△19,775
前受金の増減額（△は減少）	3,037
その他	59,904
小計	140,540
利息及び配当金の受取額	107
利息及び保証料の支払額	△944
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△84,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,140
定期預金の払戻による収入	5,400
有形固定資産の取得による支出	△45,346
有形固定資産の売却による収入	95
無形固定資産の取得による支出	△9,733
敷金保証金の回収による収入	11,666
資産除去債務の履行による支出	△2,720
その他	△780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△40,960
社債の償還による支出	△10,000
配当金の支払額	△23,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,175
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	46,226
現金及び現金同等物の期首残高	556,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	602,856

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年５月１日　至　平成25年10月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,323,341	636,582	121,089	3,081,013	―	3,081,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,133	38,350	1,222	54,707	△54,707	―
計	2,338,475	674,933	122,311	3,135,720	△54,707	3,081,013
セグメント利益又は損失（△）	145,283	23,706	△18,999	149,990	△93,275	56,714

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△93,275千円には、セグメント間取引消去7,340千円、未実現利益の調整額△251千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△100,364千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。